

第1回健康増進施設整備基本計画検討委員会 会議録

1 日時

令和元年（2019年）7月24日（水）午後2時から午後3時30分まで

2 場所

西知多医療厚生組合 衛生センター 会議室

3 議題

- (1) 健康増進施設建設事業及び健康増進施設整備基本計画の概要について
- (2) 健康増進施設の基本的事項（案）について
- (3) PFI等導入可能性調査について

4 出席者

検討委員会委員

西知多医療厚生組合 副管理者 佐治 錦三

同上 副管理者 鈴木 希明

東海市 健康福祉監 天木 倫子

知多市 健康部長 平岩 資久

西知多医療厚生組合 総務部長 前田 達郎

健康増進施設アドバイザー

日本福祉大学 執行役員・教授 山本 秀人

事務局（西知多医療厚生組合）

建設課長 浅井 紀克

建設課 榊原 琢磨

同上 加藤 輝幸

同上 伊藤 雅之

同上 竹内 佑介

同上 伊藤 聡一郎

構成市（東海市及び知多市）

東海市 健康いきがい対策監 兼 健康推進課長 小笠原 尚一

東海市 健康推進課 統括主任 久野 貴史

知多市 健康推進課長 荒谷 勝久

知多市 健康推進課 統括主任 竹之内 真吾

健康増進施設整備基本計画作成等業務委託 受託者

パシフィックコンサルタンツ株式会社 中部支社

5 会議内容

(1) 開会

事務局より開会挨拶

(2) 出席者紹介

事務局より出席者の紹介

事務局より配付資料の確認

(3) 委員長等選出

検討委員会設置要綱第4条第1項の規定に基づき、委員の互選により、佐治委員を委員長に選出

委員長あいさつ

検討委員会設置要綱第4条第3項の規定に基づき、委員長の指名により、鈴木委員を職務代理者に選出

(4) 議題

ア 健康増進施設建設事業及び健康増進施設整備基本計画の概要について
説明資料に基づき、事務局より説明

<意見及び質疑応答>

【佐治委員長】

P F I 等導入可能性調査では、民間誘致の可能性についても調査を行うのか。

【事務局】

今回の市場調査では、本事業への独立採算型での参入が可能か否かについて確認する。独立採算型で参入できる事業者がいなければ、実質的に民間誘致は見込めないと考えているので、そのような視点から誘致の実現性について確認する。

【佐治委員長】

組合議会が行った先進地視察の結果を受けて、民間誘致に関心を寄せる声もあったので、頭に入れておいてほしい。

【事務局】

独立採算型の採用可否に関しては、事業者に求める利用料金設定の考え方や、学校プール授業の利用頻度の考え方によって、左右されると考える。

【佐治委員長】

市場調査においては、選択肢を狭めずに、幅広く調査したうえで比較検討してほしい。

他に意見等なければ、この形で進めることとする。

(異議なし)

イ 健康増進施設の基本的事項（案）について

説明資料に基づき、事務局より説明

<意見及び質疑応答>

【平岩委員】

説明資料16ページに「学校プールとしての利用」とあるが、民間事業者に学校プールの利用想定等を提示する際には、現在構成市から提示している情報以外にも何か情報が必要か。

【事務局】

学校プールについては、構成市からいただいた情報を基に、運営方法の実現性について確認するとともに、意見を聞こうと考えている。

【平岩委員】

検討委員会には、構成市の教育委員会部局の職員が含まれていないので、検討委員会に方向性を諮る前に構成市の教育委員会部局と話をすると理解してよいか。

【事務局】

定期的に組合と構成市担当部局との意見交換の場を設けるので、その中で学校プールについて意見と情報をいただく予定である。

【前田委員】

学校プールの現在の利用想定については、最大数を提示されているということか。

【事務局】

現時点では最大数を提示いただいている。内訳としては、知多市からは市内10小学校の利用意向を聞いている。

【天木委員】

東海市は検討中である。

【事務局】

現在の利用想定に対応できるよう、25mプールのコース数を8コースとして想定している。

【佐治委員長】

構成市の方針を受けて、組合としてどうしていくか議論をしていかなければならないため、構成市でしっかりと検討を進めて欲しい。

【平岩委員】

説明資料12ページでは、基本構想時の健康増進プール機能と子どもプール機能を統合して、健康増進プール機能としているが、これはプール槽を一つにするという意図なのか。今回は機能の整理をするだけで、プール槽の数については指定しないということなのか。

【事務局】

プール槽の数については今後、民間事業者に提案を求めていくものと考えている。1つのプール槽に複数の機能を持たせることも可能なため、プールの数を指定するのではなく、機能をこれだけ設けてくださいという要求水準になる

と想定している。

なお、健康増進プール機能の想定面積を約850㎡としているが、これは組合が想定している機能を満たす先進事例を参考に算出したものであるため、狭いということはない。

【山本アドバイザー】

説明資料9ページの基本方針・基本コンセプトの捉え方で施設機能が決まると思うので、関係者で認識を共有するべきと考える。例えば「だれもが健康づくりに取り組める施設」という基本コンセプトがあるが、「だれもが」の対象者をきちんと定義したほうが良い。現在は「子どもから高齢者までの幅広い世代」としているが、障害児・障害者やLGBT等の性的少数者などは含まれるのか。

【事務局】

本施設には、健常者だけでなく、障害者や親子等が使える多用途な更衣室を入れることを想定しており、説明資料15ページの上段に記載しているが、個室更衣室がそれに該当する。

【佐治委員長】

基本コンセプト①のなかで、本施設の対象者等が具体的に分かるように表現を見直してはどうか。基本コンセプト②及び③の考え方についても、引き続き構成市と協議を行ってほしい。

【事務局】

承知した。

【山本アドバイザー】

障害者利用を受け入れるという前提で考える際には、車椅子のまま入水できるようにするのか、体温調節ができない方への対応をするのかという細かい検討の視点がある。障害者スポーツ指導員の設置などを検討することも考えられる。基本方針、基本コンセプトの捉え方をきちんと固めた上で、本施設でできること、できないことを示していく必要があると思う。

【佐治委員長】

組合としてどこまで対応するか明確に示しながら、検討していただきたい。

【天木委員】

16ページにライフステージ別の事業展開とあるが、乳幼児の利用を想定す

るのであれば、授乳等ができる設備等の検討も必要だと考える。女性目線で見るときに、授乳ができる設備がない施設が意外にあると感じている。各ライフステージにあわせた設備が欲しいと考えている。

【事務局】

検討する。

【佐治委員長】

今の意見をお聞きして、調整項目などがあれば、修正をしていただく。基本的にはこの案を進めるということによろしいか。

(異議なし)

ウ PFI等導入可能性調査について

説明資料に基づき、事務局より説明

<意見及び質疑応答>

【平岩委員】

PFI等導入可能性調査については、事業者が自身のノウハウを守るということも考えられるが、どの程度前向きな意見が得られるものなのか。

【事務局】

現時点では民間事業者が全てのノウハウを答えるわけではない。また、組合としても企業名・ノウハウは公表しないという前提で調査を行う。

民間事業者の考えとしては、基本計画時点で反映しておいて欲しい事業条件に関する要望と、事業者提案の段階で出したいノウハウがある。

今回の市場調査は、例えば料金設定の自由度やプログラムの内容、施設の機能等、事業条件に関わる項目について調査することを目的としている。

【平岩委員】

調査の結果をどのようにとりまとめるのか。

【事務局】

市場調査の回答を全て平等に採用するわけではない。組合が聞きたいことを聞き、事業者も回答したい箇所について回答するので、回答者によって色々な

意見がでてくる。計画にどのように盛り込むかは、回答内容を踏まえて検討していく。

【平岩委員】

東京オリンピック・パラリンピックの開催が来年に控えていることもあり、障害者のことなどについては市民の関心も高まっている。基本計画の内容については、しっかりとした説明が求められると考えている。

【事務局】

健康増進プールのあり方については、事業者がノウハウをもっている部分と、組合が意向を提示しないといけない部分があるので、組合として、必要なプールはどのようなものか提示し、事業者としてはその条件ではどこに問題があって、それは解決できるのかどうか等、条件設定のための意見をもらうことを想定している。

【鈴木職務代理人】

プールの需要予測は行っているのか。

【事務局】

市場調査とは別に現在、行っている。施設や駐車場規模の検討のため、想定利用者数を見込む必要がある。市場調査で事業者の意見も確認し、あわせて検証していくプロセスを考えている。

【鈴木職務代理人】

障害者やLGBT等の性的少数者も含めた共生社会を前提に健康づくりを行うことをコンセプトとする類似施設が周辺には少ないのではないか。その場合、利用者数等の試算に影響するのではないか。

【事務局】

利用者数には影響があると思われる。そのため、一般的な想定利用者数に補正をかけていく必要がある。また、障害者の利用については、圏域人口を元に他施設での利用割合をもとに補正をかけること等を考えている。

【佐治委員長】

8月に市場調査を行うとなっているが、今回整理した基本的な事項の内容で調査は可能なのか。

【事務局】

可能である。

【佐治委員長】

9月に予定している定性的評価を行うに当たって、追加で必要な情報はあるか。

【事務局】

学校利用等の条件は詰めていく必要がある。また、近接する施設のあり方（サッカー場等）については、事業者は連携方策や相乗効果の観点から関心を持つと考える。あとは健康増進施設の方向性を詳細に決めていきたい。例えば、パラスポーツ等の競技レベルだと対応できない等あると思うので、条件があればどんどん出していく必要があると思う。今回の市場調査については、詳細条件が確定していない段階での位置づけであることは事業者側も理解している。

【佐治委員長】

より良い施設にしたいという思いはあるが、事業者にとって運営に支障をきたす事業条件があれば、構成市にもフィードバックしていただきたい。

【山本アドバイザー】

市場調査の中で、ノウハウをどれだけ引き出せるかが大事だと考える。

【事務局】

今回の市場調査の目的は、事業を上手く進めるためのアドバイスを受けるものであり、民間事業者は障害者等の利用についてもノウハウを有しているはずなので期待している。

【山本アドバイザー】

調査項目の6、7、8は特に興味がある。

【事務局】

質問が多すぎると敬遠されることもあるため、アンケート項目はある程度絞り込んで、興味がある企業に追加でヒアリングを行う手法を考えている。

【佐治委員長】

調査については、説明資料24ページに記載してある対象企業数の規模で実施してもらえるのか。

【事務局】

現段階の案であるが、概ねこれくらいの企業数になる。

【佐治委員長】

P F I 等導入可能性調査について、資料のとおり、進めていくということによろしいか。

(異議なし)

【佐治委員長】

それでは、議題については、以上で終了とする。

(5) その他

【佐治委員長】

最後に委員の皆様、今回の検討委員会を通して何かあるか。

【鈴木職務代理者】

基本計画の策定までタイトなスケジュールだと思うが、事務局には後戻りのないように慎重にスケジュール管理を行って欲しい。

【前田委員】

市場調査の前に組合管理者及び副管理者に現在の検討状況を説明する予定である。

事務局より第2回健康増進施設整備基本計画検討委員会の説明

日時：令和元年（2019年）9月26日（木）午後3時

場所：西知多医療厚生組合 衛生センター

(6) 閉会

事務局より閉会挨拶